

○三宅に大学が来ることとスーパーシティの話

奈良県と磯城郡・3町との「大和平野プロジェクト」として、三宅町に「奈良県立大学の新学部(デジタル系分野の専門人材を育成する工学系学部)を設置し、「県立大学を核としたスタートアップ・ビレッジ」をテーマとすることになりました。「スタートアップ・ビレッジ」というのは、学生の起業までも考えているということだと思えます。

この基本構想の策定には、「株式会社オオバ 奈良営業所」がプロポーザルで業者に選ばれたようです。

ここに来て「大和平野プロジェクト」を進化させ、国の戦略特区「スーパーシティ」へ応募すると奈良県が言います。大きな話になって来ています。最先端技術を利用した町づくりのようです。ワクワクすると同時に、何がどうなるのだ? という不安もあります。「個人情報収集されて、おカネもうけに使われる」というような意見もあります。病院・買物に行く予定を登録しておけば、自動運転の車で送迎してくれるかもしれません。ドローンで買ったものが届くかもしれません。しかし、一番大事なのは、『**最新の技術でより便利になることを、どうやって、より幸せになることにつなげてゆくのか**』ということです。我々自身がどんな町にしたいのか、が問われます。

議員として情報収集、情報発信してゆきます。ぜひ皆様もアンテナを張っておいてください
議会においても今のうちにテクノロジーに慣れておく必要があります。

5. 大和平野中央プロジェクトの検討

- ・鉄道駅、京奈和自動車道の順次供用等により、交通アクセスが向上
- ・県外等からの企業立地ポテンシャルが高い地域
- ・耕作放棄地等の農地の活用によるプロジェクトを検討

○大和平野内(農地が広範囲に広がっている地域)等において、

一団の土地を取得し進めるプロジェクト

- ・国体関係運動施設の整備
- ・県立大学理工学部の設置
- ・研究所・工業ゾーンの整備 など



○三宅町交流まちづくりセンター「MiiMo みいも」本格オープン!

人が集まり交流が生まれるでしょうか。その交流が広がり町に活気がおこるキッカケになるでしょうか。議会としてもここを利用し、意見交換会や委員会などオープンな雰囲気で開催できるといいのになあと、いち議員として思います。

日本建築家協会が主催のMiiMoでの講演会では、「見たところ、安い材料でうまく設計された。建物を作るより“場(スペース)”を作ることを意識されたと感じた」と言われていました。この“場(スペース)”については、「建物管理は役場、運営は住民主体で行うことを目指す」となっています。現在、運営については、住民さんも入ったMiiMo運営委員会がおこなっているようです。しかし、どういう内容の話し合いがあって、どこまで住民さんの声が反映されているのかが見えてこない現状です。住民主体という点が見えるようにオープンにして欲しいと私は思っています(「議会こそオープンに!」という声、住民さんから欲しいですw。)

みいも食堂として、日替わりでお店がはいており、町内で食事ができます! 三宅でチャレンジする食堂のメンバーに敬意と感謝! 応援したい。ぜひ行って見て下さい



川西町議会は、ネット配信の予算を確保したと耳にしました。田原本町議会は、議会基本条例を制定しました。三宅町議会は? 議員になってすぐに、住民さんに言われたことを思い出します。「一年生議員のうちに議会改革はやっておきなさい。どうせ何年かしたら、君たちはやらなくなる」とその時は、そうかな? と思っていましたが、予言通り... んにやワシはやるぞ、権力持ったらするぞ... 権力にはまったく興味がないので、それに興味がある人に任せている格好になつてるかもしれないが、このくらい権力を握る方向にハンドルを切るか、とも考えたりします。そうすると、あの活動も、あの活動も、やめると言われそう... 他人にやれと言っ前に、自分でやらすタイプです。

編集後記

いろいろなお意見をいただいています。メールでも連絡も可能です。家の前には専用ポストもあります。

miyake@best-for-u.com

<https://mt.best-for-u.com/>



謹賀新年

おくれて
ごめんなさい

コロナで変わってしまったこの数年の生活様式が、当たり前の日常になってきています。人と人との接触をさける方向ですが、皆さんの生活に変化はありませんか。

私の周りで変化していることを書いておきます。

○人が集まる公式イベント(入園式・卒園式、入学式・卒業式、運動会、成人式、追悼式など)への一般の議員としての参加が無くなっています。

町の子どもたちの成長を感じられる機会がなくなっていることを残念に思います。

○病院、高齢者施設への外部からの出入りが制限されています。入院が必要なほど弱った場合や、認知症などの病気に対しても、家族や知人と面会が出来ないというのは、非常にきびしい状況におかれます。

○他の市町の議員さんとのオンライン勉強会に毎週、参加させてもらっています。

「コロナだからこそつながろう」という議員さん達ですので、パワフルで勉強熱心。「頑張らねば」という思いにさせられると同時に、他の自治体・議会の動きがわかり、参考になっています。



コロナ禍ではありますが、国の税収が過去最大だといえます。経済(オカネ)は回っているようです。しかし、息苦しさを感じてはいませんか。キーワードは「つながり」だと、コロナで強く感じます。先日、住民さんと盛り上がった話題があります。グローブの町なら「キャッチボール」だと! 実際にボールを投げあう以外に「言葉のキャッチボール」「想いのキャッチボール」…いろいろイメージを広げてゆけます。議会・議員として、議論のキャッチボールをしてゆきたいです。



実際にボールを投げあう以外に「言葉のキャッチボール」「想いのキャッチボール」…いろいろイメージを広げてゆけます。議会・議員として、議論のキャッチボールをしてゆきたいです。



○12月議会で否決

本庁舎2階にあるイノベーション推進部をまるごとMiiMo(みいも)に移し、空いたスペースを会議室にするという引越費用を否決しました。

現在、役場本庁舎、あざさ苑、文化ホール、水道局、幼稚園、新しくできたMiiMoにも、部署が分かれて職員が席を置いています。

当初、MiiMoには教育委員会が公民館と同じように入る予定でしたが、現在はMiiMo運営室が入っており、教育委員会は文化ホールに配置されています。MiiMoの運営は住民主体を目指すことが決まっており、一時的な利用ならまだしも職員がおおぜい常駐するのは、ヘンな気がします。

森内哲也 活動報告

第18号

2022年2月



もりうちてつや
森内哲也
三宅町議会議員
三宅町伴堂137-9
メール: miyake@best-for-u.com
サイト: <http://mt.best-for-u.com>



詳しくはwebで!

